

IV-110 民話を用いた地域計画手法に関する研究
－民話の風景に関する心理評価－

京都大学工学部 正会員 佐佐木 綱
日本総合研究所 正会員 小長井 由隆
京都大学大学院 学生員○逢 坂 謙志

1. 本研究の目的

本研究は、地域特性を有していると考えられる固有の民話の刺激を受けて生ずる風景イメージの抽出を心理実験によって行い、個性的な町づくりを行うための支援情報を得ることを目的とする。

2. 心理実験および分析手法の概要

民話の風景に関する実験の手順を以下に述べる。

①対象地域と民話の選定

対象地域は、京都府の丹波、丹後地域の大江町、綾部市、大宮町の3地域であり、各地域から2つの民話を選定して実験を行った。ここでは大江町の「酒呑童子」について述べることにする。

②刺激写真の収集

実験者が民話を読んで民話の舞台となりそうな風景イメージを想起し、それを具現化するような場所を選択して、その風景写真を撮影する。この結果、全部で21枚の刺激写真を選定した。

③心理評価の方法

a)民話との適合性の評価

被験者が民話を読んで実際に想起した風景イメージと刺激写真との比較において一致性を調査し、この一致性に基づいて適合度を算定した。算定式を図-1に示す。また、適合度の高い刺激写真（適合度10以上）に共通する景観構成要素の抽出も行った。

b)情緒的意味の評価

景観評価に関する既存の研究を参考にして20個の形容詞対を選定し、これによって、刺激写真の評定を行うSD法によって、評価構造の因子の抽出を行った。

④被験者

被験者は、民話発生地域の住民20名とした。
分析においては、適合度、抽出因子、景観構成要素の3者の相関関係の考察から風景イメージの把握を試みた。

適合度 = (A + B) × 10

$$A = \frac{\text{「非常によく似ている」の回答者数}}{\text{有効回答者数}} \times 2$$

$$B = \frac{\text{「やや似ている」の回答者数}}{\text{有効回答者数}} \times 1$$

有効回答者数 = 「非常によく似ている」の回答者数
+ 「やや似ている」の回答者数
+ 「全く異なる」の回答者数

図-1 適合度の算定式

表-1 各刺激写真の一致頻度と適合度

写真 No.	非常によく 似ている	やや 似ている	全く 異なる	写真と民話 の適合度
7	14	6	0	17.0
10	9	11	0	14.5
4	6	13	1	12.5
6	4	13	2	11.1
8	7	8	5	11.0
11	7	8	5	11.0
14	6	9	5	10.5
15	5	10	4	10.5
5	4	9	7	8.5
13	1	10	7	6.7
17	0	12	6	6.7
1	1	10	9	6.0
12	2	8	10	6.0
20	2	8	10	6.0
2	1	9	10	5.5
9	1	9	10	5.5
18	1	6	13	4.0
19	1	4	15	3.0
21	0	3	17	1.5
3	0	0	20	0.0
16	0	0	18	0.0

3. 分析結果

民話を読んで想起した風景イメージと刺激写真との一致性および適合度については表-1に示した。また、表-2に示すように、SD法により3つの因子が抽出でき、各刺激写真の意味空間上での分布の様子は図-2、図-3のようであった。適合度の高い刺激写真には意味空間上での分布に特徴がみられる。つまり、第1因子（活動性因子）の「陰」「寒」の方向および第3因子（迫力性因子）の「男」「強」の方向に偏って分布していることが認められる。したがって、この因子とその方向性が民話の中に演出された風景イメージの基本的要素と考えられる。また、適合度の高い写真に共通する景観構成要素は、「山道」、「溪流」、「山の遠景」であった。これらの景観構成要素は、先の基本的な風景イメージの因子の具体的な像と考えられる。SD法で抽出した因子、基本的な風景イメージの因子とその方向性、抽出した景観構成要素をまとめて、表-3に示す。

4. 結論

風景写真を用いた心理実験を行うことによって、民話を読むことで想起される風景の景観構成要素を抽出することができた。さらに、それらの持つ情緒的意味を把握することができた。

表-2 各形容詞対尺度の因子負荷量

形容詞対	第1因子	第2因子	第3因子
陽気な感じ-陰気な感じ	0.86	0.06	0.23
明るい感じ-暗い感じ	0.82	0.13	0.25
暖かい感じ-寒い感じ	0.78	0.07	0.30
にぎわいのある感じ-寂しい感じ	0.77	-0.12	0.11
楽しい感じ-つまらない感じ	0.69	0.44	0.04
さわやかな感じ-うつとうしい感じ	0.67	0.40	0.25
安心する感じ-不安な感じ	0.60	0.39	0.48
やさしい感じ-悪い感じ	0.60	0.35	0.53
軽やかな感じ-重々しい感じ	0.57	0.11	0.56
あかぬけた感じ-野暮な感じ	0.52	0.48	0.11
整然とした感じ-雑然とした感じ	0.51	0.45	0.17
広々とした感じ-狭い感じ	0.48	0.26	0.42
趣のある感じ-現実的な感じ	-0.13	0.78	0.04
神聖な感じ-俗っぽい感じ	-0.16	0.78	-0.19
清潔な感じ-不潔な感じ	0.35	0.66	0.24
美しい感じ-醜い感じ	0.44	0.64	-0.00
豊かな感じ-貧しい感じ	0.49	0.63	0.02
弱い感じ-力強い感じ	-0.08	-0.17	0.83
女性的な感じ-男性的な感じ	0.27	0.08	0.68
威圧的な感じ-解放的な感じ	-0.48	0.05	-0.62
因子名	活動性	総合的評価	迫力性

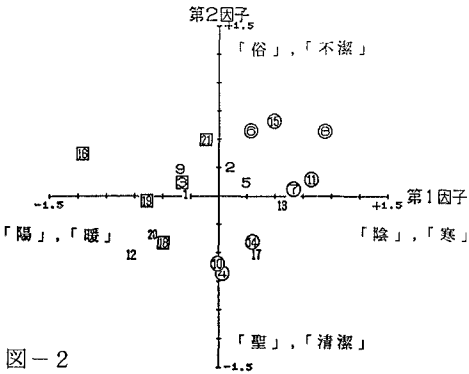


図-2 意味空間上での分布の様子(第1-2因子平面)

- 適合度 10以上
- 適合度 5以下

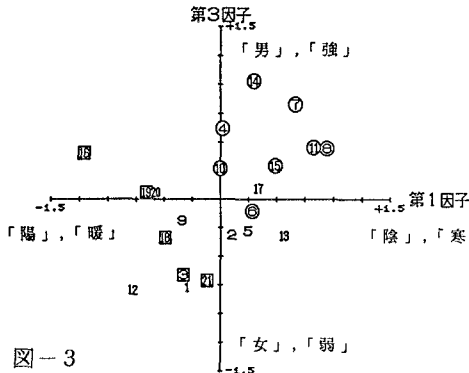


図-3 意味空間上での分布の様子(第1-3因子平面)

表-3

抽出因子	風景イメージ	景観構成要素
活動性	活動性	「山道」
総合的評価性	「陰」「寒」	「溪流」
迫力性	「男」「強」	「山の遠景」